



学校だより

令和2年7月28日
 佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 No. 84
 〒952-3541 佐渡市水津858
 TEL 0259(29)2313 小：E-mail maehama-es@sado.ed.jp
 中：E-mail maehama-js@sado.ed.jp



篠笛の音に思う

前浜小学校 校長 福井 晴人

毎週、火曜日と木曜日の昼休みが終わると、篠笛の音が学校中に響き渡ります。

「篠笛タイム」です。

小学校の5年生から中学校3年生までの8人が参加し、「前浜ばやし」を中心に、篠笛を練習する時間です。運動、会や文化祭での発表に向けて、練習にも熱が入ってきました。

最近、そこに太鼓やチャッパ（シンバルのように2枚の金属の丸い板を合わせて音を出す和楽器。右図）の音が加わり、ちょっとしたお祭り気分です。笛や太鼓や鐘の音に心がうきうきする自分を発見し、ああ日本人でよかったなあ、としみじみ思います。

この篠笛による「前浜ばやし」は、平成16年から始まりました。当時の五井勇二校長先生が、前浜の子ども達に日本の音楽の良さを知ってもらい、故郷に誇りをもってもらいたい、ということで、知人であった、世界的な篠笛奏者の狩野泰一さんをお願いして、作曲してもらったものです。これが縁で、狩野さんは、大変忙しい身であるにもかかわらず、毎年のように、前浜小中学校に来てくださって、「前浜ばやし」の指導をしてくれています。また、ご存じのように、前浜小学校の校歌は、狩野さんの作詞・作曲によるものです。



今年も、7月16日に狩野さんによる「篠笛教室」が開催されました。

狩野さんから、「口の空間を広くする」「所作が大切。姿勢をよくし、生き生きとした表情で」など、篠笛を美しく吹くコツを、的確に真剣に指導していただきました。生徒たちの吹く篠笛の音が、みるみるよくなっていくのが目に見えるようでした。

その後、ご講演をいただき、ミニ演奏会までしていただきました。

生徒にとっては（そして私たちにとっても）、まさに贅沢な時間でした。

狩野さんが、講演会で話していたことです。

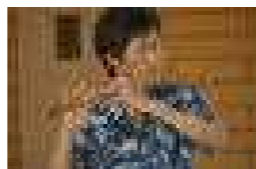
佐渡に誇りをもってほしい。佐渡の人はすごい。自分の足下を見つめ、自分のもっているものを磨いていくことが世界につながる。「佐渡には何もない」ではなく、仕事も遊びも自分でつくるものだ。どれも、狩野泰一さんがいつも言っている言葉です。

なぜ、篠笛なのか。なぜ、前浜ばやしなのか。

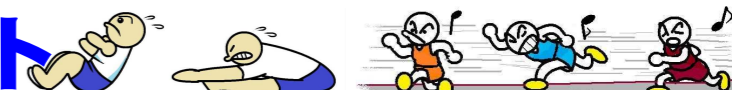
その答えがここにあります。

子どもたちがこれから生きていく社会は、ポスト工業社会やデジタル経済社会と言われます。人の感情や人そのものまでもが情報化されていく社会で、自分の足でしっかりと立っていくためには、何よりも自分のアイデンティティが支えとなります。この篠笛をとおして、日本人として、佐渡の人として、前浜の人としてのアイデンティティを少しでも培ってもらいたい、その思いでこの活動を進めております。

今年も、運動会や文化祭で演奏します。日本の子どもたちが、佐渡の子どもたちが、前浜の子どもたちが、思いを込めて演奏します。どうぞご期待ください。



第1回体力テスト



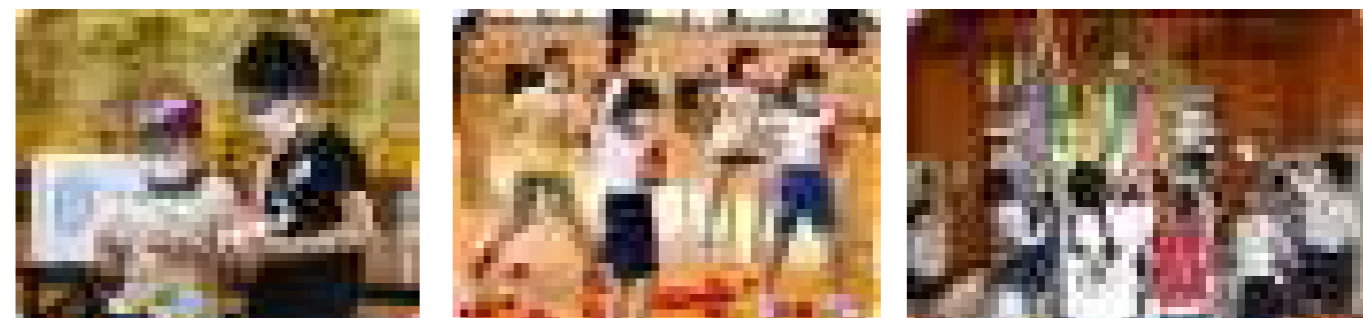
6月23日（火）に、小・中学校合同で今年度最初の体力テストを行いました。この体力テストでは8種目の運動を行い、子どもたちの握力や瞬発力、持久力や柔軟性などの力を測定します。今回は新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、中学生の先導のもと、4つのグループに分かれて測定を行いました。子どもたち一人一人の、先輩の動きを手本に張り切って運動を行う姿や、お互いに負けまいと真剣な表情で競い合う姿は、とても頼もしく感じられました。今回の測定結果を踏まえ、引き続き児童・生徒の体力向上に努めていきます。



七夕集会

7月6日（月）に、小学校運営委員会主催による七夕集会を行いました。最初に全員で七夕の歌を歌った後、一つの輪になり、一人一人が自分の願い事を発表しました。「コロナが早くなくなりますように」「家族でディズニーランドに行けますように」などの願い事を、みんなが優しい笑顔で聞いていました。その後、運営委員会が考えたレクリエーションを行い、楽しい一時を過ごしました。

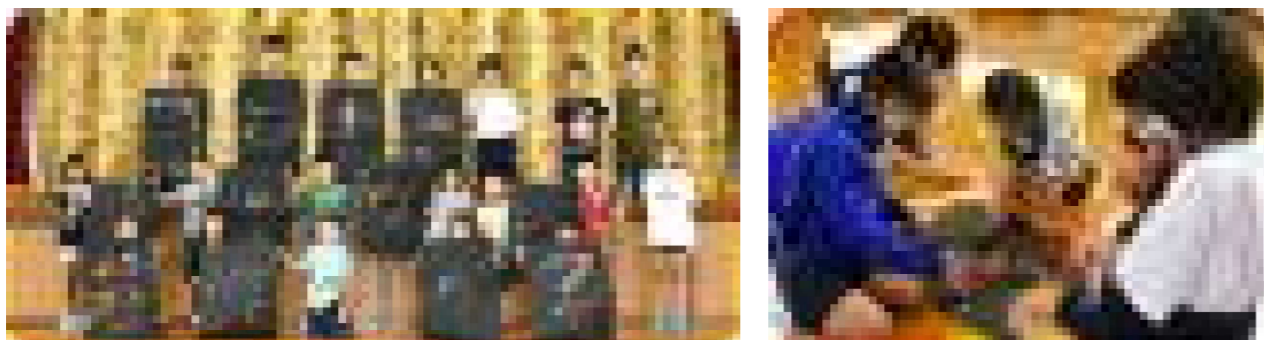
今年も児童・生徒玄関に、七夕飾りや願い事を書いた短冊を飾りました。運営委員会や5・6年生の子どもたちが頑張って取り付けている様子を見て、中学生も進んでお手伝いをする様子が見られました。優しい子どもたちみんなの願い事がかないますように！



前浜小スマイルプロジェクト

～ みんなを笑顔に！ ～ ステンドグラスを作ろう！

7月13日（月）に、5・6年生主催によるステンドグラス作りを行いました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、様々な行事・大会の中止や延期、活動の制限がされています。今の現状を、みんなで気持ちを一つに乗り切ろう！そして心に残る思い出を作ろう！そんな思いの一環として、5・6年生が今回の活動を企画しました。そして、その思いに中学生全員が賛同し、小・中学校全員の子どもたちでのステンドグラス作りが実現しました。温かい雰囲気の中、子どもたちみんなで協力し、すてきなステンドグラスが完成しました。学校の体育館に掲示してありますので、学校にお越しの際はぜひご覧ください。



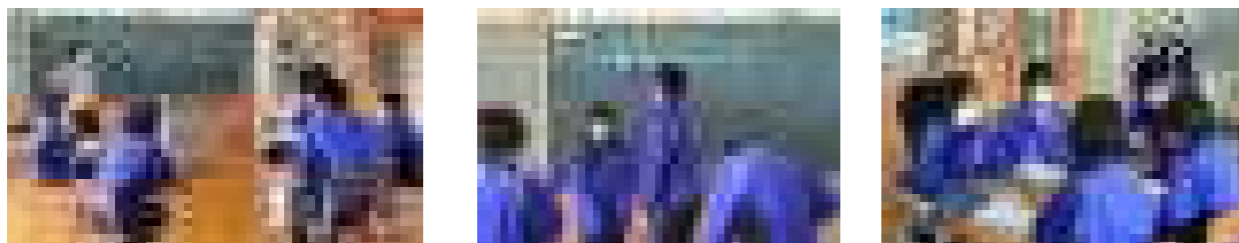
中学校 全校道徳の取組 ～一人一人の考えを大切に～

通常、道徳の授業は発達段階に応じて内容が異なり、教科書も別々のものを使用して学年ごとに行います。しかし当校では各学年1～3名しか生徒がおらず、十分な意見交換が行えずに考えを深めることが困難でした。そこで、前浜中学校では平成30年度の3学期より、**全校道徳**に取り組んできました。具体的には次のように行っています。

- (1) 全学年が同じ題材で授業を行う。
 - ① 教科書の内容について各自が意見を書き、それを発表し合う。
 - ② 発表された意見に対して感じたことを出し合い、互いに考えを深める。
 - ③ 授業の最後に「振り返り」を行い、授業で感じたことや他の生徒に対する新たな気づきについてまとめる。
- (2) 校長、教頭を含め、全教職員が交替で授業を行う。
 - ① 各教職員の専門教科や担当を活かして、異なる切り口で授業を進める。
 - ② 授業者以外の教職員も参観し、授業によっては生徒と共に意見を述べ、話し合いにも参加する。

当初は恥ずかしさからか、生徒たちは全体の前で思うように発言できませんでした。しかし回を重ねるごとに、学年を超えて堂々と意見を述べるようになってきました。また、自分と異なる意見をもいったん受け入れ、考えを修正しながら深めていく姿勢も身に付いてきました。

今後は道徳のみでなく、他の教科でもこのように全校生徒で、様々な課題についてより深く考えていける力を身に付けてほしいと考えています。



第1回篠笛教室

7月16日（木）、狩野泰一様をお招きし、**第1回篠笛教室**を行いました。例年は6月に実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策としてこの時期になりました。

今回初参加になるT・Rさんは、少し緊張した面持ちで参加しました。しかし、ハンカチを使った息の吐き方の訓練や笛の角度の修正、リラックスさせる話術等、狩野マジックによって、みるみる音が変わっていききました。それに伴い、表情が和らいできました。

小学校6年生以上の児童・生徒にとっては、今まで学んできたことをおさらいし、さらなるスキルアップを図る機会になります。

「口の空間を広くして、スピーカーボックスのように、笛の音を口の中で響かせるんだよ。」
「唇を閉じて、そこから息が漏れる感じで吹いて。息の出口の形を狂わせちゃダメだよ。」
「低い音は難しいよ。下あごを使って息を下の方に向けて、ゆっくり息を吐こう。」
「日本人は所作を大切にし、刀で斬り合うことを剣道にした。篠笛も所作が大事だよ。」

基本的なアドバイスをした後、さらに一人一人の児童・生徒のそばに行き、個々に応じた具体的な指導を行っていただきました。

後半は太鼓とチャップアの指導をしていただきました。それぞれの楽器の特性や音の出し方、姿勢、動き方等について、実演を交えて説明されていました。最後に、6年生以上の7名に御幣（ごへい）を手にした狩野様に加わり、T・Rさんに前浜ばやしを披露しました。

今後、篠笛教室は9月4日（金）と9月29日（火）に実施する予定です。

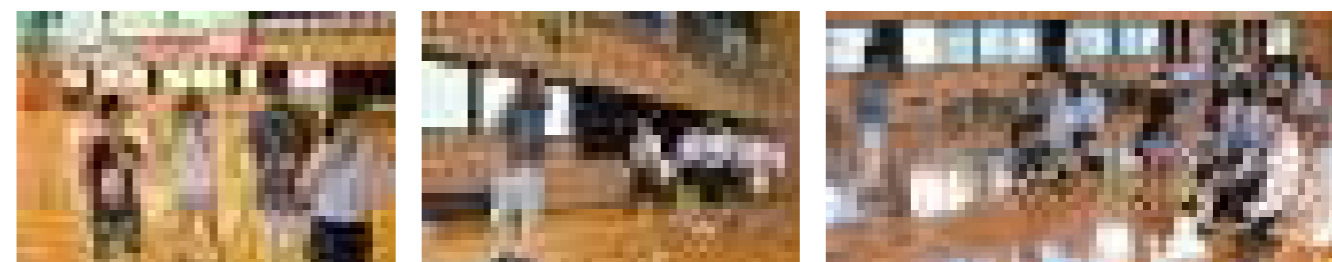
狩野泰一様 講演会「仕事も遊びも作るもの」

児童・生徒対象の篠笛教室終了後、**狩野泰一様による講演会**が行なわれました。

狩野様は、佐渡の自然や人々の暮らしに感動していることを音楽にされているそうです。自分たちで作った作物や獲った魚で生活できる佐渡の素晴らしさを語り、そんな佐渡の人たちが自分たちで仕事や遊びを作っていくことの大切さを訴えられました。大学進学などでいったん佐渡を出たとしても、外で学んだことをここで活かしてほしいとおっしゃっていました。

その後、佐渡などで撮りためた写真と音楽を融合したDVD作品を紹介していただきました。「足元にあるものに気付き、佐渡で咲こう」と決意するきっかけになった曲「雪割草」をはじめ、「花日和」「Wind & Wave」などの名曲が、美しい写真（ほとんどご自宅から半径3km以内の景色とこと）をバックに流されました。最後に紹介されたのは「前浜小学校校歌」。狩野様の歌唱と共に、当校や校区内の美しい景色、生き生きとした児童・生徒の姿が映し出されました。

講演終了後はミニ演奏会になり、観客からのリクエストで「もののけ姫」「川の流れるように」「Amazing Grace」を演奏していただきました。とても心安らぐひとときとなりました。



地域・家庭の皆様へ

夏休み中、各地区でラジオ体操を行う際、次の点にご留意ください。

- ① 屋外でもソーシャルディスタンスを保ち、最低1m間隔をとってください。
- ② マスクを持参し、必要に応じて着用してください。
- ③ 活動後、うがい・手洗いを行ってください。

